

- 「ようこそ、東京大学へ。」——「環境に恵まれた」学生たちへの激励
- 津田梅子 めざしたものがいま・・・
- ふじさわの会社訪ねました～サイマコーポレーション(辻堂)～
- 令和を迎えて、かがやけ地球を振り返る

- 編集後記
- インフォメーション

# かがやけ地球



2019  
(令和元年)  
VOL.121



2019  
(平成31)  
VOL.120



2014  
(平成26)  
VOL.100



1999  
(平成11)  
VOL.44



1998  
(平成10)  
VOL.39



1996  
(平成8)  
VOL.30



1987  
(昭和62)  
VOL.1

歴代の『かがやけ地球』

# 『ようこそ、東京大学へ。』

この4月、東京大学の入学式で女性学のパイオニアである上野千鶴子さんの祝辞が話題となった。「社会は公平ではない」「隠蔽されていた不公平は、社会に出るにつれ顕在化する」「能力があっても環境に阻害されている人もいる」…ここでは、今まで大人が言葉にしなかった「現実」が端的に語られている。今回は、私が特に感銘を受けた部分を少しご紹介したい。

東大の女子学生は合コンで出身校を「東京、の、大学」と答える

何故か。男性よりも高学歴の女はモテず、引かれるからだ。

このエピソードは、女性に求められる可愛げと、能力の「捻れ」を端的に示している。

これを読んで蘇った記憶がある。高学歴の友人が「婚活負け組」と自嘲した姿だ。友人は言っていた。「大学入る前に一言教えて欲しかった」。みなさんはその台詞を「認識が甘い」と笑うだろうか。

がんばったら報われるとあなた方が思えることそのものが、あなた方の努力の成果ではなく、環境のおかげだったことを忘れないようにしてください

子どもたちには、自らの能力を伸ばす権利がある——教育でそんな人権を学んでも、それは真実のところ、現実とは程遠い。

この祝辞では、それをはっきりと言葉にしている。能力があっても、伸ばすことを許されない人も大勢いる。娘の高学歴を喜ばない親などは、前段で述べたような社会背景による阻害の一例だ。

社会の現実と、学生たちの持つ可能性を飾らず偽らず述べたこの祝辞は、男女共同参画だけでなく、多様性を受許されるものなら全文を掲載したいほどだが、紙面の関係上叶わないので、ぜひ東京大学のHPでご覧いただきたい。

## ふじさわの会社訪ねました (株)サイマコーポレーション [辻堂]

「出産を機に辞めた社員0人」「社長が率先して休暇を取得」「子連れで出張」…働き方改革が叫ばれる昨今、改革のヒントを語る言葉を頼りに「(株)サイマコーポレーション」を訪ねました。

### 社長に聞いてみました

私も含め、スタッフは子どもの行事などのため休暇を取得することが常態化しています。

経営者の立場から言えば、働く人の事情を受け入れることができるなら働いてくれる人はいるということなんです。そうすればやめていくこともない。世の中がそういう会社ばかりになったらどうということもないのですが、今はひとつの特徴としてあるのではないのでしょうか。子育てが一段落すると次は介護となるわけですが、それもケースに応じて働き方を考えます。「制度」としてではなく各々に合わせてです。少し休んだとしても、今いるスタッフが働き続けられるなら企業としての経済

的メリットがおおいにある。だから制度だけでは補いきれない部分を個別に対応することでお互いにカバーしようというわけです。

社内では「家庭の事情で休んでばかりいられては困る」というような声は聞こえてきません。会社全体がこういう状況に「麻痺」しているのかもしれませんが、各自の事情は許容するけれど査定など明確な差は生じるということも理解されている。企業としても、個別対応と経営的な効率のバランスをとるのに丁度よい規模なのでしょう。採用は大手企業においても難しい課題ですが、中小企業こそスタッフについて受け入れられることを増やす。そうすれば退職者も減りますし、新規採用は必要ありません。

## 「環境に恵まれた」 学生たちへの激励



「がんばって報われる」のはごく一部の「恵まれた環境」にある人間だけ。

だからこそ、いずれ「社会的強者」となり得る東大生に、上野さんは言う。

あなたたちのがんばりを、どうぞ自分が勝ち抜くためだけに使わないでください。恵まれた環境と恵まれた能力とを、恵まれたいひとびとを(中略)助けるために使ってください。そして強がらず、自分の弱さを認め、支え合って生きてください(後略)——

容する社会のために大切な気づきをもたらす。

(廣松 記)



ルールを設けないのがポリシーです。自分自身で考えて行動する。そして8割の力で利益を出す。企業としてよいサイクルを持続するには2割の余力を残しつつ疲弊しないことが大切です。また、会社が人を選ぶように人も会社を選べます。社長がそのスタイルを体現することで、こういう会社だ、とよくわかってきている人たちと仕事ができているのだと思います。

長く仕事を続けるうえで外部の刺激を受けるのは必要不可欠なことです。そのための出張が子連れであればかなうなら、その体制を整えればいい。それが先方への強力なインパクトとなれば、むしろアドバンテージになるかもしれません。

(鈴木 記)

# 津田梅子

## めざしたものが

### 1. 米国留学と 私学創設への思い

父「仙」が幕臣津田家に養子に入り娘の初子と結婚、ある任務で米国に5か月間滞在し科学的な農業や民主主義の気風を学んだ。当時国では“北海道開拓人材の育成に教養ある母親のもとでの養育を、そのために母親となる女子の高等教育を”とされており、父が女子留学生の一人として娘の留学を願い出、岩倉使節団の船に混じっての渡航となった。

1882年の帰国まで、塾という言葉にも通じる「少数での行き届いた教育」で心理学・天文学・英文学・フランス語・ラテン語や音楽・絵画まで学び、寄宿先の夫人をはじめ同船だった伊藤博文、父の旧友新島

(右)戸倉さん：入社18年目。  
会社初の産休育休を取得。  
(左)角田さん：入社13年目。  
入社当時、子どもは保育園に通う。



### 女性従業員の方に 聞いてみました

子育てと仕事の両立で苦労した点は？

**戸倉さん**：私が第一子の育休明け当時は、スタッフが少なかったので、急な休みの対応をどうしたらいいか気に病むことがありました。明日休んでしまうかもしれないということをいつも意識して、仕事の状況をメモに残して周りに分かるようにしました。あと「今日は〇時までには迎えに行かないと」など自分の状況を言葉に出して伝えていくようにしました。

**角田さん**：入社の際に「休みは気にせず取ってください」と言われたので、よくしてもらった記憶ばかりです。ただし、情報はきちんと共有することを大事にしました。





新札の顔となる津田梅子を少し知ってみたい、山崎孝子氏の「人物叢書 津田梅子(1982年第5版発行)」と古木宣志子氏の「津田梅子(1992年発行)」を拝読、簡略ながら紹介したい。

いま...

津田梅子の略歴	1864年 12月31日生れ	1898年 万国婦人連合大会出席
	1871年 米国留学	1900年 「女子英学塾」創設
	1882年 帰国	1929年 逝去
	1889年 再度留学	1933年 津田英学塾となり
	1892年 帰国	学制改革後「津田塾大学」に



提供：津田塾大学

襄、英国ヨークの大僧正、ナイティンゲールほか、多くの薫陶を得た。

帰国後華族女学校等の英語教師となったが“日本では教育を受けた婦人が少なく高等教育を授ける学校も無い”と私学創設の思いに至り、そのため再度の米国留学で生物学の研究と同時に抑圧のない教育のありようを学んだ。

## 2. 「女子英学塾(津田英学塾)」創設とその後

創設の意図は「英語を目的とする教育を通して女性の視野を広め識見を高め独立した職業につき得る女性を育てること」であり、2度目の留学先で出会った

アナ・ハーツホーンの生涯にわたる塾への献身もあった。

女子英学塾や他の高等女学校が創設され有能な人材も送り出されたが女子の活躍機会は生まれず、女子留学生達の帰国時も彼女らを活かす場が準備されていなかった。梅子がある婦人誌で“日本の婦人は自己犠牲と忍耐力に富む”と目標に向け頑張る資質を見極めていたにもかかわらず、女性は異質な犠牲と忍耐を強いられてきた。

その後も“女子は進学不要”等々の形で抑え込まれていたが、近年ようやく女性の活躍へ具体的な取り組みが始まったばかり。これから本気で変えられるかどうか問われている。

(前田 記)

コミュニケーションを大事にされているんですね。

**角田さん:**子どもの学校行事も会社のイベントの一つに組み込まれているような感じです。社長が率先してお子さんの学校行事で休みを取るため、私たちも休みが取りやすいです。

また、社内飲み会は子どもを連れてきていいので、「今年は誰さんのお子さんが卒業だね」と学校行事でお休みすることをみんなで把握しています。



子育てしやすい雰囲気がありますね。

**角田さん:**新しく入った方は、逆に戸惑うかもしれません。なので「私もお休みを取っていたから遠慮なく」と声を掛けています。

**戸倉さん:**私は、子どもを産んでも仕事を続けたい、そのためお休みする期間があることを面接の時点で申し上げました。正直、同じことを言って落ちた会社もありました。「女性がいないと会社は成り立ちません。うちは子育てしやすい会社を目指しています。率先して育休を取ってください。」と言ってくれたのがうちの社長です。

(佐野 記)

### DATA

株式会社サイマコーポレーション

代表取締役：齋間 孝 事業内容：ねじなどの製造、販売  
所在地：辻堂2-9-17 従業員数：50人(グループ含む)  
創業：1952年1月

# 「令和」を迎えて、 かがやけ地球を振り返る

1987年に創刊された、「婦人問題情報紙『かがやけ地球』」。

新元号の令和を迎え、昭和、平成と三つの時代にまたがった本紙について振り返ってみました。

始めは年2回の発行で、職員が記事の執筆をしていましたが、1997年(VOL.35号)から、市民編集委員による発行開始。

1998年(VOL.39号)「男女が共に生きる情報紙『かがやけ地球』」にタイトル変更。この13年前の1985年に男女雇用機会均等法が成立し、翌年施行されています。婦人問題情報紙として発足し、時代の波間に漂う男女差別の諸問題を取り上げ、情報を提供してきました。



それでも解決できずにいた、男女の格差の溝。

1999年『男女共同参画社会基本法』が施行。(VOL.44号)

市政スタート58年目、国の音頭取りで各地方自治体の取組も積極的になってきました。



2014年春号(VOL.100号)は、特集で創刊時1987年からの27年間を振り返り、「藤沢は、かわったか? かわらない?」を検証しています。それから5年後の今日社会はめまぐるしく変化し、新たな法律も成立、施行されました。情報紙『かがやけ地球』のこれまでの足跡を辿り、社会の動きと併せて考えてみました。

1997年(VOL.35号)に初めて市民編集員で編集されてから22年の現在、市民が編集に携わっていることに変わりはありませんが、委員は入れ替わっています。働きながら、子育てしながらの編集員も取材、編集業務を行っています。文字通り実体験のなかでの原稿執筆です。

時代は平成から、令和に。新時代へ移行しました。

『かがやけ地球』は『ふじさわ男女共同参画プラン2020』に即して

- 男女共同参画に関係する情報提供
- 企業・団体などへの女性登用の促進
- 長時間労働抑制に向けた企業や関係機関への情報提供
- 育児・介護休業制度の普及、推進
- 仕事と生活の両立についての啓発
- 家事育児等を積極的に行う男性ロールモデルの情報提供

といった問題点を柱に取り組んでいます。



男女のライフスタイルも随分変化しました。結婚が生涯就職でなく、働く女性は当たり前になり、子育ては両親で行うのが当然という風潮になりつつあり、イクメン、イクボス等の新語も生まれました。

近年、いじめやDV、セクハラ等様々な課題のある社会にあって、高齢化、少子化と進むこの先の諸問題は山積ですが、ここ藤沢での市民の暮らしがより良いものとなるような情報を発信する『かがやけ地球』でありたい。

(山口 記)



- 暑いこの時期は、キッチンに立つ時間を減らしたい。スマホにて時短メニュー検索中。(佐野)
- 子からうつった病気で一家揃って自宅謹慎に…。あれこれ流行している模様、皆様もお気をつけて!(廣松)
- アットホームな雰囲気の中語られる経営戦略、スタッフのオーナーシップ。刺激的なひとときでした。(鈴木)
- 2024年(令和6年)、新札幌田梅子さんと共に一杯やりたい。(前田)
- 大型連休、新元号で一色の日本列島。我関せずの終日在宅でした。(山口)

# インフォメーション

## 6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。

国では1999年6月23日に施行された男女共同参画社会基本法の理解を深めるため、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。

男性も女性も性別に関わらず、学校で、職場で、家庭で、地域で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、みなさん一人ひとりの取組が必要です。この機会に身近なことから男女共同参画について考えてみませんか？



1972年設立 JR/小田急線藤沢駅北口から徒歩3分

## 湘南合同法律事務所

弁護士 野村 正勝 中込 泰子 弁護士/税理士・志田 一馨  
 山森 良一 小池 拓也 (神奈川県弁護士会・東京地方税理士会藤沢支部所属)  
 川本 美保 太田 啓子  
 山本 大地 (神奈川県弁護士会所属)

毎月 無料・市民法律講座開催中

<http://www.shonan-godo.net> 湘南合同法律事務所 検索

〒251-0052 藤沢市藤沢551番地1号 日進ビル7階 TEL.0466-25-3125

かがやけ地球は、市民の編集員さんの企画・運営によって、年4回発行しています。

編集スタッフ 鈴木 悠子・山口 千鶴子  
 前田 英孝・佐野 美穂子・廣松 仁子

ご意見・ご感想・今後扱って欲しいテーマなどをお待ちしております！

FAX 0466-50-8436 (人権男女共同平和課 宛)  
 E-mail [fj-jinkendanjyo@city.fujisawa.lg.jp](mailto:fj-jinkendanjyo@city.fujisawa.lg.jp)

## レディオ湘南公式アプリができました

レディオ湘南の放送と藤沢市の情報をスマートフォンなどの端末機に配信する無料のアプリケーション

### レディオ湘南 of using FM++

災害・緊急情報をより早く、より多くの方に伝えること、ラジオの難聴エリアの解消を目的とし、インターネットを利用して音声と文字情報をレディオ湘南より発信するものです。情報はPUSH配信により、アラームと文字で自動受信します。※情報の種類により文字情報のみのものもあります。平常時はレディオ湘南を聴くアプリとして利用することができます。

無料です!

## 藤沢の有隣堂《ご案内》 <http://www.yurindo.co.jp/>

藤沢店 \ 0466-26-1411  
 JR・小田急江ノ島線「藤沢」駅南口直結「フジサワ名店ビル」2・3・4・5階

テラスモール湘南店 \ 0466-38-2121  
 JR「辻堂」駅北口直結「テラスモール湘南」4階

藤沢本町トレアージュ白旗店 \ 0466-50-7550  
 小田急江ノ島線「藤沢本町」駅から徒歩5分

- 神奈川県・東京・千葉に52店舗 ● 学校・公共施設・法人への商品納入
- オフィス用品の通販 ● オフィス設計・家具 ● 出版事業
- 図書館・地区センターの運営 ● 音楽教室 ● カルチャーセンター

広告デザインの専門会社 有限会社 アート 稲元

- グラフィックデザイン (広告デザイン)
- セールスプロモーション
- Webデザイン
- サイン広告 (看板)
- 映像制作
- ロゴマーク・キャラクターデザイン

〒251-0002 神奈川県藤沢市大鋸 1-9-3  
 TEL.0466-25-4019 <http://www.art-inamoto.co.jp/>

## 藤沢商工会議所は がんばる経営者の力強い味方です!

経営相談 融資相談 起業支援

藤沢商工会館「ミナパーク」は、商工業者や市民の方々に幅広くご利用いただける会議室・多目的ホールをご用意。パーティー・飲食も可能です。

藤沢商工会議所  
 〒251-0052 藤沢市藤沢607-1 藤沢商工会館ミナパーク2階  
 TEL.0466-27-8888 (代表) 0466-29-3789 (貸会議室専用)  
 URL <http://www.fujisawa-cci.or.jp>

会員募集中!